



報道関係者各位

2021.3
福田美術館

「栖鳳の時代 ～匂いまで描く」開催記念

福田美術館・春のイベントのお知らせ



※料理画像はイメージです

この春、福田美術館はどなたにも安心してご参加いただける貸切イベントを開催いたします。「匂いや湿度までも描く」と言われた日本画家・竹内栖鳳は、明治維新の直前に京都に生まれました。企画展「栖鳳の時代 ～匂いまで描く」では、栖鳳をはじめとした京都画壇の画家たちの秀作を公開。開催中に行われる2つのイベントでは、春爛漫の嵐山の景色とともに日本画の美をご堪能いただけます。

※「密」を避けるため、参加人数は通常の半分以下に設定しております。

2021年3月27日（土）17:30～19:30

春色シャンパンナイト

シャンパンと共に学芸員解説&ナイトミュージアムを貸切鑑賞。ディナー付きプランも。

2021年4月4日（日）9:00～10:00

朝イチ！栖鳳

もっと竹内栖鳳を知りたい方に、開館前の美術館での学芸員トーク。1ドリンク付き。

※入館時や講演中、観覧中はマスクの着用をお願いいたします。
※友の会の方には参加費を一部（500円）還元いたします。会員証を忘れずにお持ちください。
※無料のコインロッカーをご利用ください。大きなお荷物は受付でお預かりします。

春色シャンパンナイト

桜の色をしたシャンパンと共にアートを楽しむ春の夜



桜の季節を迎えた嵯峨嵐山。当日はお召し物のどこかに桜色を加えたドレスコードを設定いたします。夜の美術館で思い切りアートに浸る特別な時間をご用意いたしました。展示室にはスタッフも同行いたしますので、お気軽にご質問ください。また、館内のカフェ「パンとエスプレッソと福田美術館」は、嵐山と渡月橋を望む最高のロケーション。夕暮れの大堰川を眺めながら、学芸員による作品の見どころと竹内栖鳳の人物像についての軽妙なトークを、シャンパンとともに楽しみ頂きます。

普段は味わうことができないMUNI LA TERRASSEでのディナー



アート鑑賞後には、隣接するラグジュアリーホテルMUNI KYOTOの特別ディナーをお付けしたプランも。アラン・デュカスのレストランで修行を積んだシェフ、ユーク・ジェラルドによるディナーコースを特別に、通常はディナー営業をしていないMUNI LA TERRASSEでお楽しみいただける非常に貴重な機会です。

春色シャンパンナイト

日時
参加費

3月27日（土） 17:30～19:30 最低催行人数：12人（各プラン）
プラン①／6,000円（税込）
福田美術館での貸切鑑賞（講演＋Ruinart ロゼのグラスシャンパン1杯）
プラン②／17,000円（税・サービス込）
福田美術館での貸切鑑賞（講演＋Ruinart ロゼのグラスシャンパン1杯）
＋MUNI LA TERRASSEでの特別ディナー
（前菜・スープ・メインディッシュ・デザート・コーヒー・グラスワイン1杯付）

チケット
購入用URL

<https://www.e-tix.jp/fukuda-art-museum/> （※先着順）

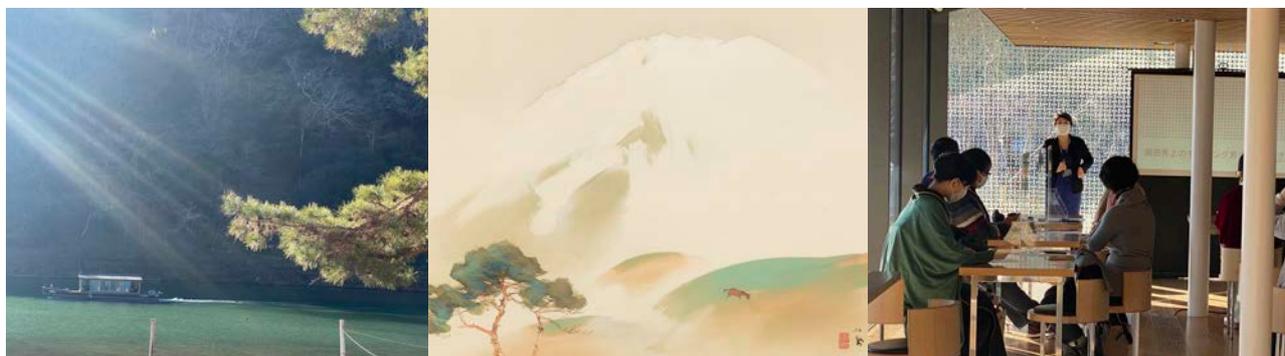
参加方法

- 福田美術館オンラインチケット販売サイトからお申し込みください。
 - 福田美術館での講演・貸切鑑賞だけをお楽しみ頂けるプランと（6,000円）、MUNI LA TERRASSEでのお食事がついたプラン（17,000円）がございます。ご希望のプランをお選びください。
 - オンラインにて、クレジットカードによる事前決済となっております。
 - チケット購入後のキャンセルは出来かねますので、ご注意ください。
 - MUNI LA TERRASSEでのお食事プランを選択されたお客様には、アレルギーの有無などを確認するためのメールを別途お送りいたします。メールアドレスをお間違いのないよう、ご入力ください。
-
- 美術館の受付にてお申し込みの場合は、現金・クレジットカードがご利用いただけます。スタッフに直接お申し出ください。
 - FAXでお申し込みの場合は、当館が指定する銀行口座に参加費を事前にお振り込みいただきます。氏名・ご希望のプラン・参加人数・ご住所・連絡のつく電話番号・メールアドレス（あれば）を記載の上、075-863-0607までご送付ください。折り返し振込先をご連絡いたします。
-
- 当日は17:20から受付いたします。
 - オンラインチケットのQRコードをスマホで見せいただくか、紙に印刷したものをお持ちください。紛失された場合、入場できないことがあります。ご注意ください。
 - 入館に際しては検温をさせていただきます。37.5℃を超えた場合、入場できませんのであらかじめご承知ください。

募集期間:3月6日（土）～3月20日（土）

朝イチ！栖鳳

竹内栖鳳についてもっと知りたい方へ、美術館での朝活を提案



今でも老若男女を問わず新しいファンを増やし続けている日本画家、竹内栖鳳。江戸時代から続く日本画の技法の中でも主流であった四条派に学んだ後、円山派や狩野派、南画など他の伝統的な画風を身につけ、さらにはターナーやコローなど当時最新の西洋画や写真の要素までも貪欲に取り入れました。また栖鳳が目指した「省筆」という選び抜かれた筆跡のみ画面に残す描き方や画面上にとられた余白は、人々の想像力に訴えかけ、彼の生涯愛した俳句の世界に通じるものがあります。

当イベントでは、竹内栖鳳の人となりを感じるエピソードや、当時の京都画壇の人間関係など、担当学芸員である中村七海が初心者でも楽しめるようにお話をさせていただきます。トーク後は朝の日差しが爽やかなカフェでドリンクをお楽しみください。

朝イチ！栖鳳

日時
参加費

4月4日（日） 9:00～10:00

3,000円（税込）

カフェ「パンとエスプレッソと福田美術館」 ドリンク1杯付（入館料込）

参加方法

●福田美術館の代表メール（info@fukuda-art-museum.jp）宛に、

①名前 ②住所 ③連絡のつく電話番号 ④メールアドレスを記載の上、お申し込み

※当日現金またはクレジットカードでの支払となります。

※福田美術館受付での直接予約・FAXによる予約も受け付けます。

●HPのFAX申し込み用紙から必要事項を記入の上、075-863-0607までご送付。

募集期間：3月8日（月）～4月1日（木）

福田美術館について

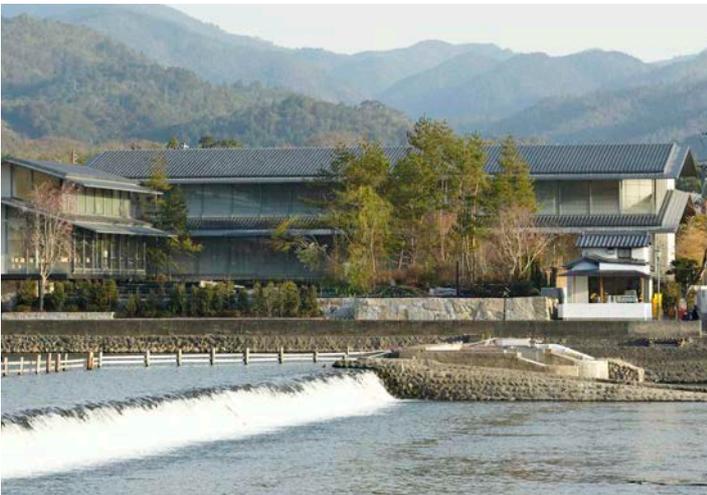
「美しい自然と日本美術の融和。日本文化の新たな発信拠点として」

美術館の建つ京都・嵯峨嵐山は古来歌枕でもある場所で、多くの貴族や文化人に愛され芸術家たちが優れた作品を生み出す源泉となってきました。

福田美術館は、「100年続く美術館」をコンセプトに、現代まで受け継がれてきた日本文化を次世代に伝え、さらなる発展へと繋ぐ美術館を目指しています。

オーナーである福田吉孝は京都生まれ。そこで事業を興し、今日まで続けてきたことに対し、地元の方々のご支援とこの地に恩返しをしたいという思いから、2019年10月、美術館の設立に至りました。

今や日本国内だけでなく、世界中から多くの人々が訪れる観光地である嵐山。その中でも渡月橋を望む大堰川（桂川）沿いの景勝地に位置し、四季折々でそれぞれに変化する風景は千年変わらず人々を魅了しています。この美しい自然とともに日本美術の名品を愉しむことで、嵐山が世界有数の文化発信地となることを願っています。



「嵐山にふさわしい、未来へむけた日本建築の形」

福田美術館の建築を手掛けた安田幸一氏によれば、「蔵」をイメージした展示室や外の自然とのつながりを感じられる「縁側」のような廊下など、伝統的な京町家のエッセンスを踏まえつつ、これから100年のスタンダードとなるような新しい日本建築を目指したという事です。また、庭には大堰川に連なる水鏡のごとく嵐山を映し出す水盤が設けられており、渡月橋が最も美しく一望できるカフェからは最高の眺めを味わうことができます。



ルイナール

「シャンパーニュの宝石」

1729年9月1日にフランスのランスで創業した世界最古のシャンパーニュメゾン ルイナール。その洗練された上品な味わいは、シャルドネの個性を完璧に表現し、創業以来、世界中の人々を魅了しています。また、その誕生のきっかけとなった啓蒙主義に共鳴しながら、自分たちがこだわるアール・ド・ヴィーヴル(Art de Vivre: 美しく豊かに生きる喜び)を発展させていくことをたゆむことなく取り組んできました。「上品さ」、「純粹さ」、「職人技」、「軽やかさ」は、ルイナールで受け継がれてきたキーワードです。こうした財産が、ルイナールのフランスだけでなく世界各国での成功の所以であり、創業当初からの率先した芸術への取り組みを拡大させていきました。



メゾンルイナールとアートの関係

「芸術の後援者、ルイナール」

伝統遺産、歴史、卓越性を広めていくコミュニケーションのひとつとして創業以来、芸術を用いているメゾン ルイナール。その歴史は1896年、アールヌーボーを代表するアルフォンス ミュシャへメゾンの広告ポスターを依頼したことから始まります。現在では、年間30もの世界中のアートフェアにスポンサーとして参加。日本では毎年、京都でおこなわれるKYOTOGRAPIEにおいて2016年からスポンサーを務めています。また現代アーティストたちと共に創造し、多くの才能を支援。アートシーンには欠かせないシャンパーニュ メゾンとして確固たる地位を築き、世界中のアート愛好家に注目されています。

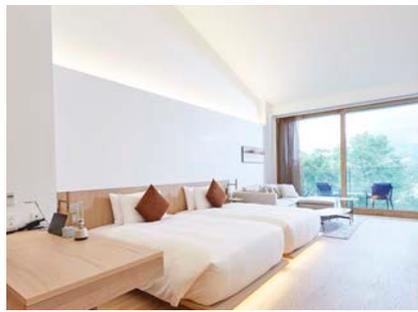


MUNI KYOTO

「千年の別荘地・京都嵐山に調和するラグジュアリーホテル」

「MUNI KYOTO」がコンセプトとして掲げているのは「唯一無二の景色」です。それは、嵐山の大自然と歴史に調和した、空間や眺めという景色。そして、お客様に対する私たちのホスピタリティから生み出される景色。さらに、満足感と充足感に満たされたお客様から、自然にあふれ出る笑顔の景色。京都嵐山の「唯一無二のロケーション」と、お客様の心に刻まれる「唯一無二のシーン」、そんな「唯一無二の景色」を生み出していきます。

日本文化の新たな発信拠点として2019年10月にオープンした福田美術館とともに、当ホテルはお客様の感性を刺激して、特別なひとときを約束いたします。



「アラン・デュカスの名前を冠するレストラン」

アラン・デュカスが設立したデュカス・パリは、2つのレストランを京都に展開。ひとつは京都の食材で仕立てるフランス料理をディナータイムにご堪能いただく、至極のコンテンポラリーレストラン「MUNI ALAIN DUCASSE」。そしてもうひとつは、桂川の景観を眺めながら朝食・ランチ・ティータイムをお楽しみいただく「MUNI LA TERRASSE」。パリ、モナコ、ロンドンのアラン・デュカスの3ツ星レストランで経験を積んできたユーク・ジェラルールがシェフとして厨房に立ちます。デュカス・パリはオーセンティックなビストロから3ツ星まで、世界10ヵ国に30のレストラン、そしてフランスを中心としたヨーロッパのホテルが500軒以上加盟する「レ・コレクションヌール」を指揮、また、国際的な料理・製菓専門教育機関、カカオ豆から職人が作るショコラ専門店、更にコーヒー専門店など、アラン・デュカスが30年以上にわたって培ったフードサービスとホスピタリティにおける様々なヴィジョンを展開しています。



〈営業時間〉

ブレックファースト／07:00～ (L.O) 09:30 ランチ／11:30～ (L.O) 14:00
ティータイム／14:00～ (L.O) 15:30 閉店16:30

〈お問い合わせ〉

お問い合わせ／075-873-7770 E-mail／fbsevice@muni-kyoto.com
予約専用番号 050-3503-5626

福田美術館概要

- 名称：福田美術館／Fukuda Art Museum
- 住所：〒616-8385 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16
- 電話番号：075-863-0606 (FAX) 075-863-0607
- メールアドレス：info@fukuda-art-museum.jp
- ホームページ：<https://fukuda-art-museum.jp>



- 敷地面積：1982㎡
- 延床面積：1193.58㎡
 - ・ 展示室1／151.2㎡
 - ・ 展示室2／175.4㎡
 - ・ 展示室3／64.5㎡
- 交通アクセス：
 - ・ JR山陰本線「嵯峨嵐山」駅下車、徒歩12分
 - ・ 阪急嵐山線「嵐山」駅下車、徒歩11分
 - ・ 嵐電（京福電鉄）「嵐山」駅下車、徒歩4分



イベントに関するお問い合わせ

福田美術館 広報事務局（ウインダム内）
TEL 03-6661-9448 FAX 03-3664-3833
Email fukudamuseum@windam.co.jp

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9-4F
「福田美術館」広報事務局
担当：沼澤、多田